



VDI 版 Cisco Jabber Softphone Release 12.7 展開およびインストール ガイド

初版：2019年9月9日

最終更新：2019年11月26日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com go trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



新機能および変更された機能に関する情報

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(iii ページ\)](#)

新機能および変更された機能に関する情報

日付	ステータス	説明	場所
2019年9月	新規	Initial publication. この再構成されたガイドでは、すべてのVDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームがカバーしています。	
2019年9月	変更	更新されたパラメータ名: HeadsetPreferenceOnVDI。	ユーザ エクスペリエンス (3 ページ)
2019年10月	新規	CSCvr84303 に対処するための新しいトピックを追加しました。	Cisco Unified Communications Manager でのデバイス登録の確認 (47 ページ)
2019年11月	変更	CSCvr99526 に対処するためのデータフローのイラストを追加。	VDI 版 Cisco Jabber Softphone (1 ページ)



目次

はじめに :

新機能および変更された機能に関する情報	iii
新機能および変更された機能に関する情報	iii

第 1 章

計画	1
VDI 版 Cisco Jabber Softphone	1
Cisco Jabber および VDI	1
ユーザ エクスペリエンス	3
一般的な要件	3
要件: HP Thin Pro シンクライアント	6
要件: Ubuntu シンクライアント	7
要件: Unicon eLux シンクライアント	8
要件: Windows シンクライアント	9

第 1 部 :

配備	13
----	----

第 2 章

展開の概要	15
導入概要ワークフロー	15

第 3 章

ダウンロード	17
Cisco JVDI Agent のダウンロード	17
Cisco JVDI クライアント のダウンロード	17
Cisco AnyConnect—Unicon eLuxのダウンロード	18

第 4 章

インストール	19
--------	----

ホストされる仮想デスクトップワークフローの設定	19
コンポーネントワークフローのインストール: HP シン Pro	20
コンポーネントワークフロー—Ubuntu のインストール	21
コンポーネントワークフロー—ユニコン eLux のインストール	22
コンポーネントワークフロー—Windows のインストール	23
Cisco JVDI クライアントのインストール	24
Microsoft インストーラーの実行	24
コマンドラインの使用	25
グループ ポリシー エディタの使用	25

 第 5 章

アップグレード 27

アップグレードに関する注意事項	27
アップグレードのワークフロー	28

 第 11 部 :

トラブルシューティング 29

 第 6 章

トラブルシューティング—Windows 31

コンフィギュレーションファイル	31
レジストリ キー	32
Cisco Jabberの接続ステータスの確認	32
Cisco JVDI クライアントが動作しているか確認	33
Cisco JVDI エージェントがインストールされていることの確認	33
Cisco JVDI クライアントのバージョンの確認	34
ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる	34
HVD の切断後にコールが失われる	34
ログ コレクションの有効化	35
メモリダンプコレクションの有効化	35

 第 7 章

トラブルシューティング—ユニコン eLux 37

プラットフォームの基本イメージバージョンの確認	37
Cisco Jabberの接続ステータスの確認	37

Cisco JVDI クライアントがインストールされていることの確認	38
Cisco JVDI エージェントがインストールされていることの確認	39
シンククライアント上で VXC が実行されていることを確認	39
ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる	40
HVD の切断後にコールが失われる	40

第 8 章

トラブルシューティング: HP シン Pro および Ubuntu	41
プラットフォームのバージョンを確認する: HP シン Pro	41
プラットフォームバージョンを確認する: Ubuntu	42
Cisco Jabberの接続ステータスの確認	42
Cisco JVDI クライアントがインストールされていることを確認する	43
Cisco JVDI エージェントがインストールされていることの確認	43
シンククライアント上で VXC が実行されていることを確認	44
ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる	44
HVD の切断後にコールが失われる	44

第 9 章

一般的なトラブルシューティング	47
コンフィギュレーションファイル	47
Cisco Unified Communications Manager でのデバイス登録の確認	47



第 1 章

計画

- [VDI 版 Cisco Jabber Softphone](#) (1 ページ)
- [Cisco Jabber および VDI](#) (1 ページ)
- [ユーザ エクスペリエンス](#) (3 ページ)
- [一般的な要件](#) (3 ページ)
- [要件: HP Thin Pro シンクライアント](#) (6 ページ)
- [要件: Ubuntu シンクライアント](#) (7 ページ)
- [要件: Unicon eLux シンクライアント](#) (8 ページ)
- [要件: Windows シンクライアント](#) (9 ページ)

VDI 版 Cisco Jabber Softphone

VDI 版 Cisco Jabber Softphone 製品ファミリには次のようなアプリケーションがあります。

- VDI 版 Cisco Jabber Softphone - HP Thin Pro および Ubuntu
- VDI 版 Cisco Jabber Softphone - ユニコン eLux
- VDI 版 Cisco Jabber Softphone - Windows
- VDI 版 Cisco Jabber Softphone : Dell Wyse シン OS (Dell Wyse で利用可能で、サポートされています)

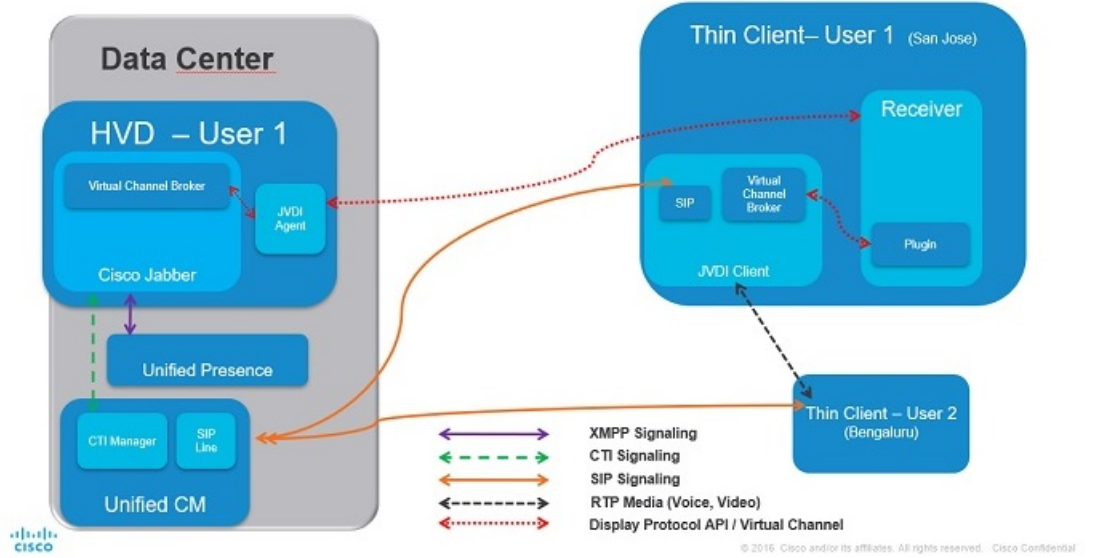
Cisco Jabber および VDI

Cisco Jabberチャットとプレゼンスは、仮想デスクトップインフラストラクチャの導入でサポートされています。ただし、*[hairpin エフェクト]*と呼ばれる制限があるため、コールとビデオの機能はサポートされていません。コールやビデオに必要な帯域幅が増えると、データセンターでボトルネックが生じます。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone Cisco コラボレーションエクスペリエンスが仮想導入に拡張されます。Cisco Jabber for Windows のサポートされたバージョンを使用すると、ユーザはホストされた仮想デスクトップ (HVD) 上で電話コールを送受信できます。VDI 版 Cisco Jabber Softphone

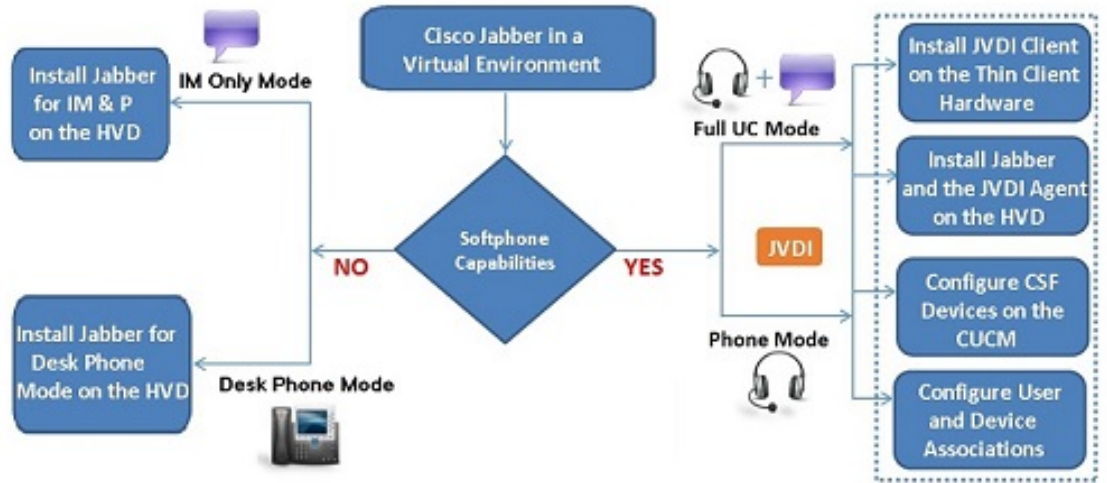
ソフトウェアは、仮想環境を自動的に検出します。遅延時間を短縮し、VDI 版 Cisco Jabber Softphone メディアの品質を向上させるために、ホストされた仮想デスクトップを通さずに、各エンドポイント間でメディアをストリームします。

図 1: VDI 用 Cisco Jabber ソフトフォン: データフロー



次のフローチャートを使用して、必要かどうかを決定します。VDI 版 Cisco Jabber Softphone

図 2: VDI 版 Cisco Jabber Softphone が必要ですか？



ユーザエクスペリエンス

VDI 版 Cisco Jabber Softphone 実行時に仮想環境を検出し、Cisco Jabber は仮想化モードで起動します。Cisco Jabber for Windows および VDI 版 Cisco Jabber Softphone のユーザエクスペリエンスは、非 VDI エクスペリエンスと似ています。ただし、仮想環境では、いくつかの小さな違いがあります。

- Windows の通知領域に配置されている **デバイスセレクター** を使用すると、ユーザはアクティブカメラとオーディオデバイスをすばやく切り替えることができます。デバイス管理は、Cisco Jabber 内からでも使用できます。
- **[ヘッドセット優先順位]**: デフォルトでは、Cisco Jabber 新しく接続されたデバイスが優先順位リストの先頭に追加され、新しいデバイスがアクティブになります。[HeadsetPreference] パラメータを設定して、Cisco Jabber 新しいデバイスを優先順位リストの一番下に追加することができます。詳細については、*Cisco Jabber* のパラメータ リファレンス ガイドを参照してください。



(注) ユーザは、**[音声 (Audio)]** 設定でこの設定を上書きすることができます。

- **機能サポート**: Windows 機能のほとんどをサポートしています。VDI 版 Cisco Jabber Softphone いくつか Cisco Jabber の例外があります。詳細については、プラットフォームのリリースノートを参照してください。
 - VDI 版 Cisco Jabber Softphone のリリース ノート - HP Thin Pro および Ubuntu
 - 『VDI 版 Cisco Jabber Softphone のリリースノート』 : Unicon eLux
 - VDI 版 Cisco Jabber Softphone のリリース ノート : Windows

[VDI 版 Cisco Jabber Softphone のリリース ノート](#)

一般的な要件

一般的な要件は、すべての VDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームに適用されます。



重要

このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

アクセサリ

推奨される音声およびビデオアクセサリのリストについては、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html の「*Unified Communications Endpoint and Client Accessories*」を参照してください。

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。

Windows 版 Cisco Jabber

Cisco Jabber ホステッド仮想デスクトップ (HVD) で実行されている Windows 12.7 の場合。

仮想環境の互換性の詳細については、リリースの Cisco Jabber ドキュメントを参照してください。

Cisco Unified Communications Manager

推奨:CUCM リリース 11.5 (1) SU3 以降

最小値:CUCM リリース10.5

接続ブローカー: ホスト仮想デスクトップにインストールされます。

- Citrix 仮想アプリとデスクトップ (旧称 XenApp および XenDesktop) バージョン7.x -7.1909 および 7.15 CU4 LTSR

共有デスクトップは、フルスクリーンモードでのみサポートされます。公開されたアプリケーションは、VDI 版 Cisco Jabber Softphone (Windows) の全画面モードでサポートされています。

- VMware ホライズン 6 バージョン 6.x -7.10

接続ブローカーは、ホスト仮想デスクトップへの接続を作成するソフトウェアです。接続ブローカーは、次のような多数のタスクを実行します。

- ユーザ名を検証し、ユーザの接続を提供します。
- ユーザが特定の仮想デスクトップに接続できるようにします。

オペレーティング システム: ホスト仮想デスクトップにインストールされています。

- Microsoft Windows 7 (32 ビット)
- Microsoft Windows 7 (64 ビット)
- Microsoft Windows 8 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8 (64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 64 (64 ビット)

- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)

サーバオペレーティングシステム: ホスト仮想デスクトップにインストールされています。

- Microsoft Windows サーバ 2012 R2
- Microsoft Windows サーバ 2016 R2

ポート要件

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabberと同じポートと、次の追加のポート範囲が必要です。

表 1: ポートの使用

Port Range	説明
16384-32767	RTP の UDP インバウンドおよびアウトバウンドトラフィック (音声およびビデオストリーム) このポート範囲を減らすように Cisco Unified Communications Manager を設定できます。CSF デバイスに関連付けられている SIP プロファイルの 開始/停止メディアポート の設定を変更します。

サポートされるコーデック

オーディオ コーデック

- G.722
- G.722.1 (24 および 32k)
G.722.1 は Cisco Unified Communications Manager 8.6.1 以降でサポートされます。
- G.711 A-law
- G.711 u-law
- G.729a
- Opus
Opus は、Cisco Unified Communications Manager 11.0 以降でサポートされています。

ビデオ コーデック:H.264/AVC

要件: HP Thin Pro シンクライアント



重要 このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

HP ThinPro プラットフォームイメージ

32-bit: HP ThinPro 6.2

64-bit: HP ThinPro 7.1 SP 3.3 および 7.x バージョン

HP Thin Pro シンクライアント: ハードウェア

HP Thin Pro 6.2 でテストされた次のクライアント ハードウェアを推奨します。

- HP t520
- HP t530
- HP t620
- HP t630
- HP t730
- HP mt21

次のクライアント ハードウェアを推奨します。これは、HP Thin Pro 7.1 SP 3.3 でテストされています。

- HP t430
- HP t520
- HP t530
- HP t630
- HP t730
- HP mt21

接続ブローカー: HVD にインストールされます。

- Citrix 仮想アプリとデスクトップ (旧称 XenApp および XenDesktop) バージョン 6.x、7.x ~ 7 1811 および 7.15 LTSR

公開されたアプリケーションと共有デスクトップは、フルスクリーンモードでのみサポートされます。

- VMware ホライズン 6 バージョン 6.x-7.7

接続ブローカーは、ホスト仮想デスクトップへの接続を作成するソフトウェアです。接続ブローカーは、次のような多数のタスクを実行します。

- ユーザ名を検証し、ユーザの接続を提供します。
- ユーザが特定の仮想デスクトップに接続できるようにします。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。

HP Thin Pro イメージには、必要な Citrix と VMware のバージョンが含まれています。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。

要件: Ubuntu シンクライアント



重要

このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

Ubuntu デスクトップイメージ

- Ubuntu 14.04 32b LTS (i386)
- Ubuntu 16.04 64b-alpm LTS (AMD64)

Ubuntu シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU: AMD G-T56N 1.65 Ghz、または Intel Core2Duo T7500 2.2 GHz
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。

- Citrix Receiver 13.0 以降

- Citrix Workspace app 1808 以降
- VMware ホライズン ビュー クライアント バージョン 4.x および 5.x

Citrix Workspace app または VMware ホライズン クライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

要件: Unicon eLux シンククライアント



重要 このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

Unicon eLux プラットフォーム イメージ

- 32 ビット : Unicon eLux 5.7
- 64 ビット : Unicon eLux 6.5

eLux パッケージは、Unicon eLux から使用できます。ダウンロードの検索については、eLux サポートにお問い合わせください。

Unicon eLux シンククライアント: ハードウェア

シンククライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。

- 1.6 GHz デュアルコア プロセッサ
- 2 GB のメモリ

eLux RP 5.7.0 でテストされた次のクライアント ハードウェアを推奨します。

- HP T620 デュアルコア/クアドコア
- HP T630 デュアルコア/クアドコア
- HP T730
- Cisco VXC 6215
- Dell Wyse Z50D

Citrix Workspace App または **VMware** ホライズンクライアント: シンククライアントにインストールされています。

Unicon eLux には、必要な Citrix と VMware のバージョンが含まれています。

Citrix Workspace app または VMware ホライズン クライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

Cisco Anyconnect (任意)

vpnsystem v1.0-1

要件: Windows シンクライアント



重要 このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

Microsoft Windows シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU モバイル AMD Sempron プロセッサ 3600 +、2 GHz Intel Core 2 CPU、または T7400 (2.16 GHz)
- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Microsoft Windows: シンクライアントにインストールされています。

- Microsoft Windows 7 (32 ビット)
Windows 7 (KB4019990) の更新が必要です
- Microsoft Windows 7 (64 ビット)
X64 ベースのシステム (KB4019990) の Windows 7 の更新が必要です
- Microsoft Windows 8 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8 (64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)

- Microsoft Windows 10 (64 ビット)
- Windows シン PC 32-ビット



(注) VDI 版 Cisco Jabber Softphone Windows は、Microsoft .NET Framework または Java モジュールを必要としません。

Windows Embedded Standard シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU のパフォーマンスは、ビデオの最大解像度に影響します。Windows Embedded Standard シンクライアントでは、予想される解像度は CPU によって異なります。
 - クアッドコア AMD GX-420CA SOC 2 GHz または類似の最大 720p
 - デュアルコア AMD G-T56N 1.65 GHz または類似の 240p まで
 - Eden X2 U4200 1 GHz または同様の CPU を介したデュアルコアによる音声のみのサポート



(注) これらのハードウェア仕様は、予想される解像度のガイドラインにすぎません。その他の要因は、ビデオの解像度に影響を与える可能性があります。

- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Windows Embedded Standard: シンクライアントにインストールされています。

- WES Windows Embedded Standard
Windows Embedded Standard 7 (KB4019990) の更新が必要です
- Windows Embedded Standard 7 (64 ビット)
64-bit Systems (KB4019990) 用の Windows Embedded Standard 7 の更新が必要です
- Windows Embedded Standard 7 (64 ビット)
64-bit Systems (KB4019990) 用の Windows Embedded Standard 8 の更新が必要

- Windows 10 IoT Enterprise

Citrix Workspace App または **VMware** ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。

- Windows 4.4 の場合は Citrix 受信者 (ICA)、最大4.12
- Windows 1808 の場合は Citrix Workspace App (ICA)、最大1907



重要 VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Microsoft ストアからダウンロードされた Citrix Workspace アプリをサポートしていません。

- Windows 4.1.0 の VMware ホライズンクライアント、4 および最大 5.0
(バージョン 4.3 および 4.4 はサポートされていません)。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。



重要 Cisco JVDI クライアントをインストールする前に、Citrix の受信側または VMware ホライズンクライアントをシンクライアントにインストールします。

Citrix または VMware 製品をアップグレードする場合、または Citrix 環境から VMware 環境に変更する場合は、Cisco JVDI クライアントを再インストールします。



第 1 部

配備

- [展開の概要 \(15 ページ\)](#)
- [ダウンロード \(17 ページ\)](#)
- [インストール \(19 ページ\)](#)
- [アップグレード \(27 ページ\)](#)



第 2 章

展開の概要

- [導入概要ワークフロー](#) (15 ページ)

導入概要ワークフロー

ご使用のプラットフォームのリリースノートのドキュメントをお読みになることを推奨します。要件を確認して、ハードウェアとソフトウェアがそれらに対応していることを確認します。すべての要件を満たしていない場合は、展開が機能しない可能性があります。



重要 Windows 版 Cisco Jabber および Cisco JVDI Agent のバージョンは常に一致している必要があります。ただし、Cisco JVDI Client バージョンは同じであるか、以前のバージョンである可能性があります。使用可能な機能セットは、以前のソフトウェアバージョンによって決定されます。

Cisco JVDI エージェントと Cisco JVDI クライアントの両方をインストールする必要があります。それ以外の場合は、ソフトフォンが登録されません。

手順

ステップ 1 指示に従って、Windows 版 Cisco Jabber を Jabber クライアントのインストール環境に展開します。

重要 VDI 版 Cisco Jabber Softphone ユーザ用の CSF デバイスを作成し、各ユーザを以下のアクセス制御グループに追加する必要があります。

- 標準CCMエンドユーザ (Standard CCM End Users)
- 標準CTIを有効にする (Standard CTI Enabled)

お使いのリリース用の *Cisco Jabber* のオンプレミス展開を参照してください。

ハイブリッド展開の場合は、使用しているリリースの *Cisco Jabber* のクラウドとハイブリッド展開を参照してください。

Cisco Jabber の導入ガイドは、次のところから入手できます。 <https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html>

ステップ 2 データセンターにホストされた仮想デスクトップを作成して設定します。

ホストされた仮想デスクトップ (HVD) がインストールできる状態にあることを確認します。
Cisco JVDI Agent [ホストされる仮想デスクトップワークフローの設定 \(19 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 3 シンククライアントを設定します。

シンククライアントのドキュメントを参照してください。

ステップ 4 シンククライアントと HVD に VDI 版 Cisco Jabber Softphone コンポーネントをインストールします。

- [コンポーネントワークフローのインストール: HP シン Pro \(20 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—Ubuntu のインストール \(21 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—ユニコン eLux のインストール \(22 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—Windows のインストール \(23 ページ\)](#)



第 3 章

ダウンロード

- [Cisco JVDI Agent のダウンロード \(17 ページ\)](#)
- [Cisco JVDI クライアントのダウンロード \(17 ページ\)](#)
- [Cisco AnyConnect—Unicon eLuxのダウンロード \(18 ページ\)](#)

Cisco JVDI Agent のダウンロード

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	次の URL にアクセスしてください。	http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html
ステップ 2	[製品]> [ユニファイドコミュニケーション]> [ユニファイドコミュニケーションアプリケーション]> [メッセージング] に移動し、VDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームを選択します。	<ul style="list-style-type: none">• VDI 用 Cisco Jabber ソフトフォン: HP シン Pro および Ubuntu• VDI 用 Cisco Jabber ソフトフォン: ユニコン eLux• VDIのCisco Jabber ソフトフォン: Windows
ステップ 3	リストから、Cisco JVDI Agent リリースに対応するファイルを選択します。	
ステップ 4	[ダウンロード (Download)] または [カートに追加 (Add to cart)] ボタンをクリックして、プロンプトの指示に従います。	

Cisco JVDI クライアントのダウンロード

この手順は、HP Thin Pro 7.1 SP3、Unicon eLux)、および Windows プラットフォームに適用されます。HP シン Pro 6.2 の場合、VDI 版 Cisco Jabber Softphone Debian (.deb) パッケージおよび

cisco-jvdi<xx.x.x>-pre-reqs.xar ファイルは、HP から入手できます。Ubuntu では、Ubuntu ソフトウェアセンターから Debian パッケージを入手できます。

手順

ステップ 1 次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html>

ステップ 2 [製品] > [ユニファイドコミュニケーション] > [ユニファイドコミュニケーションアプリケーション] > [メッセージング]に移動し、VDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームを選択します。

- VDI 用 Cisco Jabber ソフトフォン: HP シン Pro および Ubuntu
- VDI 用 Cisco Jabber ソフトフォン: ユニコン eLux
- VDIのCisco Jabber ソフトフォン: Windows

ステップ 3 リストから、Cisco JVDI Clientリリースに対応するファイルを選択します。

ステップ 4 [ダウンロード (Download)] または [カートに追加 (Add to cart)] ボタンをクリックして、プロンプトの指示に従います。

Cisco AnyConnect—Unicon eLuxのダウンロード

サポートされている **vpnsystem** パッケージは、Unicon から利用できます。

手順

ステップ 1 ユニコンの Web サイトをご覧ください。

ステップ 2 **vpnsystem** ファイルを見つけてダウンロードします。

ファイルの検索については、「ユニコンサポート」に問い合わせてください。



第 4 章

インストール

- [ホストされる仮想デスクトップワークフローの設定 \(19 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフローのインストール: HP シン Pro \(20 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—Ubuntu のインストール \(21 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—ユニコン eLux のインストール \(22 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—Windows のインストール \(23 ページ\)](#)

ホストされる仮想デスクトップワークフローの設定

HVD 用の仮想マシンは、Citrix または VMware でプロビジョニングできます。Citrix でプロビジョニングされた仮想マシンは、専用にすることも、複数のリモートセッションに接続して複数のユーザを接続することもできます。複数のリモートセッションをサポートするには、サポートされている Microsoft Windows サーバオペレーティングシステムが仮想マシン上で実行されている必要があります。

手順

ステップ 1 管理者権限を使用して、新しいユーザとして Microsoft Windows HVD にログインします。

ステップ 2 HVD を社内ドメインに加えます。

ドメイン管理者の権限が必要です。

ステップ 3 HVD への Citrix または VMware アクセスを設定します。

次のタスク

- [コンポーネントワークフローのインストール: HP シン Pro \(20 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—Ubuntu のインストール \(21 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—ユニコン eLux のインストール \(22 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—Windows のインストール \(23 ページ\)](#)

コンポーネントワークフローのインストール:HP シン Pro

始める前に

すべての必要なファイルが手元にあることを確認します。シンクライアントに手動でCisco JVDI Clientをインストールする場合は、ファイルを USB スティックにコピーします。

- [Cisco JVDI Agent のダウンロード \(17 ページ\)](#)
- [Cisco JVDI クライアント のダウンロード \(17 ページ\)](#)



(注) シン Pro 7.1 SP3 から、前提条件ファイルはシン Pro と共に事前にインストールされています。シン Pro 6.2 では、必須ファイルを HP から直接取得することができます。



重要 Cisco Jabber for Windows と Cisco JVDI Agentのバージョンは、常に一致している必要があります。ただし、Cisco JVDI Client バージョンは同じであるか、以前のバージョンである可能性があります。使用可能な機能セットは、以前のソフトウェアバージョンによって決定されます。

手順

ステップ 1 シンクライアントで、USB スティックから手動で、または大規模導入用 HP デバイスマネージャーを使用して、次の順序でVDI 版 Cisco Jabber Softphone ファイルをインストールします。

インストールの順序

1. 前提条件
2. VDI 版 Cisco Jabber Softphone .deb パッケージ。

大規模導入の詳細については、HP から入手可能な HP デバイスマネージャー 4.7 のマニュアルを参照してください。

ステップ 2 HVD に Cisco JVDI Agent をインストールします。

.msi ファイル をダブルクリックして、インストールウィザードの手順に従います。

ステップ 3 HVDで、Windows 版 Cisco Jabber のインストール。

CiscoJabberSetup.msi をダブルクリックして、インストールウィザードの手順に従います。Cisco Jabber for Windows のインストール方法の詳細については、お使いのリリースの *Cisco jabber* のオンプレミス展開を参照してください。

ハイブリッド展開の場合は、使用しているリリースの *Cisco Jabber*のクラウドとハイブリッド展開を参照してください。

Cisco Jabber導入ガイドは、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html> から入手できます。

次のタスク

HVDの複製。Microsoft Windows HVD イメージのクローンを作成するためのベストプラクティスについては、Citrix または VMware 製品のマニュアルを参照してください。

シンクライアントのイメージを作成します。HPから入手できるHP デバイスマネージャー 4.7 に関するマニュアルを参照してください。

コンポーネントワークフロー—Ubuntu のインストール



重要

Cisco Jabber for Windows と Cisco JVDI Agentのバージョンは、常に一致している必要があります。ただし、Cisco JVDI Client バージョンは同じであるか、以前のバージョンである可能性があります。使用可能な機能セットは、以前のソフトウェアバージョンによって決定されます。

始める前に

すべての必要なファイルが手元にあることを確認します。シンクライアントに手動でCisco JVDI Clientをインストールする場合は、ファイルを USB スティックにコピーします。

- [Cisco JVDI Agent のダウンロード \(17 ページ\)](#)
- Ubuntu ソフトウェアセンターリポジトリから VDI 版 Cisco Jabber Softphone deb パッケージを入手します。

シンクライアントで、端末エミュレーターを使用して次のコマンドを実行します：「**sudo apt-get update**」。その後、プロンプトでパスワードを入力します。Ubuntu ソフトウェアセンターがアップデートするリポジトリのリスト。パッケージリストの読み取りが終了すると、ターミナルエミュレーターを閉じることができます。シンクライアントからアクセス可能なネットワーク共有上にファイルを置いたり、USB スティックにファイルをコピーしたりすることができます。

手順

ステップ 1 HVD に Cisco JVDI Agent をインストールします。

Cisco JVDI Agent .msi をダブルクリックして、インストールウィザードの手順に従います。

ステップ 2 HVD で、Cisco Jabber をインストールします。CiscoJabberSetup.msi をダブルクリックして、インストールウィザードの手順に従います。

Cisco Jabber for Windows のインストール方法の詳細については、お使いのリリースの *Cisco Jabber* のオンプレミス展開を参照してください。

ハイブリッド展開の場合は、使用しているリリースの *Cisco Jabber* のクラウドとハイブリッド展開を参照してください。

Cisco Jabber 導入ガイドは、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html> から入手できます。

ステップ 3 シンクライアントで、Cisco JVDI Client をインストールします。認証プロンプトで、パスワードを入力します。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone deb パッケージをダブルクリックすると、Ubuntu ソフトウェアセンターが開きます。[インストール] をクリックすると、Ubuntu ソフトウェアセンターが依存ライブラリを探してインストールし、をインストールします。Cisco JVDI Client

次のタスク

HVD 画像を複製します。Microsoft Windows HVD イメージのクローンを作成するためのベストプラクティスについては、Citrix または VMware 製品のマニュアルを参照してください。

シンクライアントのイメージを作成します。

コンポーネント ワークフロー—ユニコン eLux のインストール



重要 Cisco Jabber for Windows と Cisco JVDI Agent のバージョンは、常に一致している必要があります。ただし、Cisco JVDI Client バージョンは同じであるか、以前のバージョンである可能性があります。使用可能な機能セットは、以前のソフトウェアバージョンによって決定されます。

始める前に

- [Cisco JVDI Agent のダウンロード \(17 ページ\)](#)
- [Cisco JVDI クライアント のダウンロード \(17 ページ\)](#)
- [Cisco AnyConnect—Unicon eLux のダウンロード \(18 ページ\)](#) (これは、ユーザが VPN に接続する必要がある場合にのみ必須です)。

手順

ステップ 1 HVD で、Cisco Jabber for Windows をインストールします。

CiscoJabberSetup.msi をダブルクリックして、インストールウィザードの手順に従います。Cisco Jabber for Windows のインストール方法の詳細については、お使いのリリースの *Cisco jabber* のオンプレミス展開を参照してください。

ハイブリッド展開については、ご使用のリリースの『*Cisco Jabber* のクラウドおよびハイブリッド展開』を参照してください。

Cisco Jabber 導入ガイドは、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html> から入手できます。

ステップ 2 HVD に Cisco JVDI Agent をインストールします。

MSI ファイル をダブルクリックして、インストールウィザードの手順に従います。

ステップ 3 シンクライアントで、Cisco JVDI Client をインストールし、必要な場合は、Cisco AnyConnect を同時に導入します。

次のタスク

HVD 画像を複製します。Microsoft Windows HVD イメージのクローンを作成するためのベストプラクティスについては、Citrix または VMware 製品のマニュアルを参照してください。

Elias ツールを使用して、Cisco JVDI Client を含むイメージを作成します。シンクライアントにイメージを展開します。イメージの作成方法またはシンクライアントの更新方法の詳細については、Unicon Web サイトから入手可能な「Elias」のマニュアルを参照してください。

コンポーネントワークフロー—Windows のインストール



重要 Cisco Jabber for Windows と Cisco JVDI Agent のバージョンは、常に一致している必要があります。ただし、Cisco JVDI Client バージョンは同じであるか、以前のバージョンである可能性があります。使用可能な機能セットは、以前のソフトウェアバージョンによって決定されます。

始める前に

- [Cisco JVDI Agent のダウンロード \(17 ページ\)](#)
- [Cisco JVDI クライアントのダウンロード \(17 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 HVD に Cisco JVDI Agent をインストールします。

ステップ 2 HVD に Cisco Jabber をインストールします。

CiscoJabberSetup.msi をダブルクリックして、インストールウィザードの手順に従います。Cisco Jabber for Windows のインストール方法の詳細については、お使いのリリースの *Cisco Jabber* のオンプレミス展開を参照してください。

ハイブリッド展開の場合は、使用しているリリースの *Cisco Jabber* のクラウドとハイブリッド展開を参照してください。

Cisco Jabber導入ガイドは、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-installation-guides-list.html> から入手できます。

ステップ3 シンクライアントで、Cisco JVDI Clientをインストールします。

「[Cisco JVDI クライアントのインストール \(24 ページ\)](#)」を参照してください。

Cisco JVDI クライアントのインストール

前提条件

シンクライアントにCisco JVDI Clientをインストールする前に、次のタスクを完了します。

- Citrix レシーバーまたは VMware ホライズンビュークライアントをインストールしてセットアップします。



(注) JVDI クライアントは、32または64 ビットアプリケーションとして利用できます。

- Cisco JVDI Client zip ファイルを取得し、コンテンツを抽出します。

次のいずれかの方法を使用して、Cisco JVDI Client をインストールします。

- [Microsoft インストーラーの実行 \(24 ページ\)](#)
- [コマンドラインの使用 \(25 ページ\)](#)
- [グループ ポリシー エディタの使用 \(25 ページ\)](#)

Microsoft インストーラーの実行

Microsoft インストーラー (MSI) を実行してCisco JVDI Client をインストールします。

手順

ステップ1 CiscoJVDIClientSetup.msi ファイルをダブルクリックします。

ステップ2 実行可能ファイルを開くには、[OK] をクリックします。

- ステップ3** [**ファイルを開く：セキュリティの警告**] が表示された場合は、[**実行**] をクリックしてください。
- ステップ4** EULA を読み、同意する場合は、[**同意してインストール (Accept and Install)**] をクリックします。
<http://www.cisco.com/go/eula>。
- ステップ5** インストールを完了するには、[**完了 (Finish)**] をクリックします。

コマンドラインの使用

手順

- ステップ1** コマンド ウィンドウを開きます。
- ステップ2** 次のコマンドを入力します: `start /wait msieexec.exe /i <path to MSI>\CiscoJVDIClientSetup.msi /quiet`。
`/quiet` スイッチは、サイレント インストールを指定します。

グループ ポリシー エディタの使用

グループポリシー管理コンソールを使用して、サポートされている Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行している、サポートされているシンクライアントに Cisco JVDI Client を展開します。

始める前に

- マイクロソフトの Orca を使用して、言語コードを 1033 に設定します。
- 修正した Microsoft インストーラー (MSI) をソフトウェア配布ポイントにコピーして導入します。Cisco JVDI Client を導入する予定のすべてのコンピュータは、分散ポイントの MSI にアクセスできる必要があります。

手順

- ステップ1** [**スタート (Start)**] > [**実行 (Run)**] を選択します。
- ステップ2** プロンプトで、次のコマンドを入力します: `GPMC.msc`。
- ステップ3** 左側のセクションの適切なドメインを右クリックします。
- ステップ4** [**このドメインに GPO を作成してここにリンクする (Create a GPO in this Domain, and Link it here)**] を選択します。

- ステップ 5** **[新しいGPO]** ウィンドウ、**[名前 (Name)]** フィールドにグループポリシー オブジェクトの名前を入力します。
- ステップ 6** デフォルト値をそのままにするか、**[発信元の開始 GPO (Source Starter GPO)]** リストからオプションを選択し、次に **[OK]** を選択します。
- 新しいグループポリシーが、ドメインのグループポリシーのリストに表示されます。
- ステップ 7** 左側のセクションのドメインの下からグループポリシー オブジェクトを選択します。
- ステップ 8** **[スコープ (Scope)]** タブの **[セキュリティ フィルタリング (Security Filtering)]** セクションから、**[追加 (Add)]** を選択します。
- ステップ 9** Cisco JVDI Client を導入するコンピュータとユーザを指定します。
- ステップ 10** MSI ファイルを指定。
- ステップ 11** 左側のセクションのグループポリシー オブジェクトを右クリックして、**[編集 (Edit)]** を選択します。
- [グループポリシー管理エディタ (Group Policy Management Editor)]** が開きます。
- ステップ 12** **[コンピュータの設定 (Computer Configuration)]** を選択して、**[ポリシー (Policies)]** > **[ソフトウェアの設定 (Software Settings)]** を選択します。
- ステップ 13** **[ソフトウェアのインストール (Software Installation)]** を右クリックして、**[新規 (New)]** > **[パッケージ (Package)]** を選択します。
- ステップ 14** **[ファイル名]** の横に MSI ファイルの場所を入力します。
- 例 :
- ```
\\server\software_distribution
```
- 重要** MSI ファイルの場所の汎用名前付け規則 (UNC) パスを入力します。UNC パスを入力しない場合、グループポリシーは Cisco JVDI Client を導入できません。
- ステップ 15** MSI ファイルを選択し、**[開く (Open)]** を選択します。
- ステップ 16** **[ソフトウェアの導入 (Deploy Software)]** ダイアログボックスで、**[割り当て済み (Assigned)]** を選択し、**[OK]** を選択します。
-



## 第 5 章

# アップグレード

---

- [アップグレードに関する注意事項 \(27 ページ\)](#)
- [アップグレードのワークフロー \(28 ページ\)](#)

## アップグレードに関する注意事項

新しいリリース 12.7 VDI 版 Cisco Jabber Softphone の機能入手するには、以下のすべてのコンポーネントをリリース 12.7 にアップグレードする必要があります。

- Windows 版 Cisco Jabber
- Cisco JVDI Agent
- Cisco JVDI Client

Cisco JVDI エージェントと Cisco JVDI Client は両方とも、softphone の登録に必要なものです。Windows 版 Cisco Jabber および Cisco JVDI Agent のバージョンは常に一致している必要があります。ただし、Cisco JVDI Client バージョンは同じであるか、以前のバージョンである可能性があります。使用可能な機能セットは、以前のソフトウェアバージョンによって決定されません。

- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.7、Cisco JVDI Agent Release 12.7 および Cisco JVDI Client Release 12.7
- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.7、Cisco JVDI Agent Release 12.7 および Cisco JVDI Client Release 12.6



### 重要

以前の JVDI クライアント リリースの制限事項と制約事項が適用されます。使用可能な機能は、以前のリリースで使用可能な機能に限定されています。詳細については、以前のリリースのリリースノート参照してください。たとえば、JVDI クライアントリリースが 12.6 の場合は、リリース 12.6 のリリースノートドキュメントを参照してください。

---

# アップグレードのワークフロー

ご使用のプラットフォームのリリースノートのドキュメントをお読みになることを推奨します。要件を確認して、ハードウェアとソフトウェアがそれらに対応していることを確認します。すべての要件を満たしていない場合は、展開が機能しない可能性があります。

## 始める前に

すべての必要なファイルが手元にあることを確認します。シンクライアントに手動でCisco JVDI Clientをインストールする場合は、ファイルを USB スティックにコピーします。

## 手順

手順に従って、VDI 版 Cisco Jabber Softphone コンポーネントをシンクライアントと HVD にインストールします。

- [コンポーネントワークフローのインストール: HP シン Pro \(20 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—Ubuntu のインストール \(21 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—ユニコン eLux のインストール \(22 ページ\)](#)
- [コンポーネントワークフロー—Windows のインストール \(23 ページ\)](#)

**重要** Cisco JVDI エージェントとCisco JVDI Client は両方とも、softphone の登録に必要なものです。Cisco Jabber for Windows と Cisco JVDI Agentのバージョンは、常に一致している必要があります。ただし、Cisco JVDI Client バージョンは同じであるか、以前のバージョンである可能性があります。使用可能な機能セットは、以前のソフトウェアバージョンによって決定されます。

Cisco JVDI Client をアップグレードしない場合は、インストールする前に手順をスキップできます。



## 第 II 部

# トラブルシューティング

- [トラブルシューティング—Windows \(31 ページ\)](#)
- [トラブルシューティング—ユニコン eLux \(37 ページ\)](#)
- [トラブルシューティング: HP シン Pro および Ubuntu \(41 ページ\)](#)
- [一般的なトラブルシューティング \(47 ページ\)](#)





## 第 6 章

# トラブルシューティング—Windows

- [コンフィギュレーションファイル](#) (31 ページ)
- [レジストリ キー](#) (32 ページ)
- [Cisco Jabberの接続ステータスの確認](#) (32 ページ)
- [Cisco JVDI クライアントが動作しているか確認](#) (33 ページ)
- [Cisco JVDI エージェントがインストールされていることの確認](#) (33 ページ)
- [Cisco JVDI クライアントのバージョンの確認](#) (34 ページ)
- [ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる](#) (34 ページ)
- [HVD の切断後にコールが失われる](#) (34 ページ)
- [ログ コレクションの有効化](#) (35 ページ)
- [メモリダンプコレクションの有効化](#) (35 ページ)

## コンフィギュレーションファイル

システムに追加する Cisco ユニファイドクライアントサービスフレームワーク (CSF) デバイスごとに、Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャーは設定 (CNF.xml) ファイルを作成します。CNF ファイルには、関連付けられたユーザのデバイスの仕様が含まれています。

ユーザがCisco Jabber にログインすると、VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、関連付けられている CNF ファイルのダウンロードをシンクライアントに開始します。ファイルが正常に転送されるには、すべてのファイアウォールアプリケーションで関連するポートを開いて、シンクライアントがポートにアクセスできるようにします。ポートを開く方法の詳細については、ファイアウォールソフトウェアのドキュメントを参照してください。



### 重要

CNF.xml ファイルは、HTTP プロキシのシステム設定に従ってダウンロードされます。プロキシが企業ネットワーク外にあるシンクライアントから HTTP 要求をルーティングしないことを確認します。

## レジストリキー

Cisco JVDI クライアントのインストールプログラムは、再利用された PC に Citrix レシーバーまたはVMware ホライズンクライアントのいずれかがすでにインストールされているかどうかを確認します。次のいずれかのレジストリの場所で、[InstallFolder] 文字列タイプのレジストリキーが存在している必要があります。

- Citrix の場合、インストーラーは HKEY\_LOCAL\_MACHINE \SOFTWARE\Wow6432Node\Citrix\Install\ICA クライアントで Citrix インストールへのパスを検索します。

**例 (x86 PC から):** [HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Install\ICA Client] "InstallFolder"="C:\Program Files\Citrix\ICA Client\"


- VMware ホライズンの場合、インストーラーは HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\VMware, Inc.\VMware VDM で、VMware のインストール先へのパスを検索します。

**例 (x64 PC からの場合):** [HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\VMware, Inc.\VMware VDM] "ClientInstallPath"="C:\Program Files\VMware\VMware View\Client\"

## Cisco Jabberの接続ステータスの確認

Cisco Jabber for Windows にログインした後、Jabber と Cisco Softphone for VDI の接続ステータスを確認できます。JVDI エージェントおよび JVDI クライアントのバージョンを確認することもできます。

### 手順

- ステップ 1  をクリックすると、設定メニューが開きます。
- ステップ 2 ヘルプ > 接続状況の表示を選択します。
- ステップ 3 [Connection のステータス (Connection Status)] ウィンドウで、[JVDI Details] をクリックします。

次の情報を確認できます。

- JVDI クライアントバージョン
  - ヒント JVDI クライアントバージョンが 12.5 または 12.1 の場合、そのクライアントバージョンは、ソフトフォンが接続されるまで表示されません。
- JVDI エージェントのバージョン



- 仮想チャネルステータスは、JVDI クライアントと間の通信が成功したかどうかを示します。 Cisco Jabber
- **SIP status**は、Cisco Unified Communications Managerとの SIP コミュニケーションが成功したかどうかを示します。
- **Softphone CTI** ステータスは、CTI 通信が成功しているかどうかを示します。

ヒント SIPステータスが接続されていても、**Softphone CTI**ステータスが接続されていない場合は、CUCM で CTI 設定を確認してください。

ステップ 4 の詳細な診断情報を表示するには Cisco Jabber、**Ctrl +Shift + D** を押します。

## Cisco JVDI クライアントが動作しているか確認

Windows タスクマネージャーを使用して、Cisco JVDI Client が動作していることを確認します。

Citrix 環境では、ユーザがホストされた仮想デスクトップ (HVD) にサインインすると、VDI 版 Cisco Jabber Softphone プロセスが開始されます。セッションが終了すると、プロセスが停止します。

VMware 環境では、VDI 版 Cisco Jabber Softphone ユーザが HVD にサインインしてから、プロセスが開始されます。セッションが終了すると、プロセスが停止します。

### 手順

ステップ 1 シンクライアントデスクトップ上で、タスクバーを右クリックし、[タスクマネージャー(Task Manager)] を選択します。

ステップ 2 [プロセス (process)] タブで、下へスクロールして vxc.exe プロセスを探します。

## Cisco JVDI エージェントがインストールされていることの確認

Windows のコントロールパネルを使用して、Cisco JVDI Agent がインストールされていることを確認できます。また、バージョンを確認することもできます。

### 手順

ステップ 1 コントロールパネルで、[プログラムと機能 (windows 7)] または [プログラム (windows 8)] を開きます。

**ステップ 2** Cisco JVDI Agent を検索するには、インストールされているプログラムのリストをスクロールします。

バージョンコラムに、Cisco JVDI Agent バージョンが表示されます。

## Cisco JVDI クライアントのバージョンの確認

Cisco JVDI Clientインストールされているプログラムと機能の一覧に表示されます。

### 手順

**ステップ 1**

**ステップ 2** シンククライアント上で、コントロールパネルのプログラムと > 機能を開きます。

**ステップ 3** リストを下へスクロールして、Cisco JVDI Client を探します。

**ステップ 4** のバージョンを確認するには、Cisco JVDI Client[バージョン (version)] 列を参照してください。

## ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる

ホストされている仮想デスクトップ (HVD) に再接続するように求めるメッセージが表示されます。ユーザが再接続した後、Cisco Jabber コール制御機能が動作しません。

この問題は、シンククライアントでネットワーク接続が失われた場合に発生する可能性があります。

この問題を解決するには、ユーザにCisco Jabberを終了するか、またはHVDから切断するようにします。次に、自分のHVDにもう一度ログオンし、コール制御を復元してCisco Jabberに再度サインインすることができます。

## HVD の切断後にコールが失われる

アクティブコール中にユーザがホストされた仮想デスクトップ (HVD) に再度ログインするように求めるプロンプトが表示され、コールがドロップされます。コールの相手は、コールが終了したことを示すものではありません。回線はサイレント状態です。

この問題は、シンククライアントと HVD の間の接続が切断され、登録とコール制御が一時的に失われる場合に発生する可能性があります。

この問題を回避するには、ユーザは相手を再度呼び出すことができます。相手方が利用できない場合は、ユーザはインスタントメッセージ (IM) を送信できます。

## ログコレクションの有効化

Cisco 設定ファイル (cisco.conf) を変更すると、シンククライアントからログのコレクションを有効にすることができます。

cisco.conf ファイルは、次の場所にあります。C:\Program Files (x86)\Cisco Systems\Cisco VXME\cisco.conf

### 手順

**ステップ 1** cisco.conf ファイルを開き、次の行を追加します。

```
[logger]
log_level = Debug
```

ログレベルは、致命的、エラー、警告、情報、デバッグ、またはトレースのいずれかの値に設定できます。デフォルトのレベルは DEBUG です。

**ステップ 2** ファイルを保存します。

**ステップ 3** HVD にログアウトして、vxc プロセスを再起動します。

## メモリダンプコレクションの有効化

Cisco 設定ファイル (cisco.conf) を変更して、問題レポートツール (PRT) がメモリダンプを収集することができます。

Windows 32 ビットの場合、cisco.conf ファイルは、C:\Program Files (x86)\Cisco Systems\Cisco VXME\cisco.conf にあります。

Windows 64 ビットの場合、cisco.conf ファイルは、C:\Program Files\Cisco Systems\Cisco VXME\cisco.conf にあります。

### 手順

**ステップ 1** cisco.conf ファイルを開き、次の行を追加します。

```
[logger]
dump_type = Minidump
dump_when_collect_log = True
```

Dump\_type は、Fulldump または Minidump に設定できます。デフォルトは Minidump です。Dump\_when\_collect\_log が False に設定されている場合、PRT はメモリダンプを収集しません。

**ステップ 2** ファイルを保存します。

**ステップ 3** HVD にログアウトして、vxc プロセスを再起動します。

---



## 第 7 章

# トラブルシューティング—ユニコン eLux

- プラットフォームの基本イメージバージョンの確認 (37 ページ)
- Cisco Jabberの接続ステータスの確認 (37 ページ)
- Cisco JVDI クライアントがインストールされていることの確認 (38 ページ)
- Cisco JVDI エージェントがインストールされていることの確認 (39 ページ)
- シンククライアント上で VXC が実行されていることを確認 (39 ページ)
- ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる (40 ページ)
- HVD の切断後にコールが失われる (40 ページ)

## プラットフォームの基本イメージバージョンの確認

### 手順

ステップ 1 [スタート (Start) ] メニューで [コントロールパネル (Control Panel) ] を選択します。


ステップ 2 [Setup] タブを選択します。

ステップ 3 [一般 (General) ] タブを選択し、OSラインを探します。

## Cisco Jabberの接続ステータスの確認

Cisco Jabber for Windows にログインした後、Jabber と Cisco Softphone for VDI の接続ステータスを確認できます。JVDI エージェントおよび JVDI クライアントのバージョンを確認することもできます。

### 手順

ステップ 1  をクリックすると、設定メニューが開きます。

ステップ2 ヘルプ > 接続状況の表示を選択します。

ステップ3 [Connection のステータス (Connection Status)] ウィンドウで、[JVDI Details] をクリックします。

次の情報を確認できます。

- **JVDI クライアントバージョン**

ヒント JVDI クライアントバージョンが 12.5 または 12.1 の場合、そのクライアントバージョンは、ソフトフォンが接続されるまで表示されません。

- **JVDI エージェントのバージョン**

- 仮想チャネルステータスは、JVDI クライアントと間の通信が成功したかどうかを示します。 Cisco Jabber

- **SIP status**は、Cisco Unified Communications Manager との SIP コミュニケーションが成功したかどうかを示します。

- **Softphone CTI** ステータスは、CTI 通信が成功しているかどうかを示します。

ヒント SIPステータスが接続されていても、**Softphone CTI** ステータスが接続されていない場合は、CUCM で CTI 設定を確認してください。

ステップ4 の詳細な診断情報を表示するには Cisco Jabber、**Ctrl + Shift + D** を押します。

---

## Cisco JVDI クライアントがインストールされていることの確認

Cisco JVDI Client がインストールされていることを確認し、Cisco JVDI Client バージョンを確認するには、次の手順を実行します。

### 手順

ステップ1 [スタート (Start)] メニューで [コントロールパネル (Control Panel)] を選択します。

ステップ2 [Setup] タブを選択します。

ステップ3 [General] タブを選択します。

ステップ4 パッケージのリストを下へスクロールして、**Cisco JVDI クライアント**を確認します。

アドオンバージョンは同じ行に表示されます。

---

## Cisco JVDI エージェントがインストールされていることの確認

Windows のコントロールパネルを使用して、Cisco JVDI Agent がインストールされていることを確認できます。また、バージョンを確認することもできます。

### 手順

- ステップ 1** コントロールパネルで、[プログラムと機能 (windows 7)] または [プログラム (windows 8)] を開きます。
- ステップ 2** Cisco JVDI Agent を検索するには、インストールされているプログラムのリストをスクロールします。  
バージョンコラムに、Cisco JVDI Agent バージョンが表示されます。

## シンククライアント上で VXC が実行されていることを確認

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、vxc プロセスが実行されている必要があります。

### 手順

- ステップ 1** シンククライアントに接続するには、セキュアシェル (SSH) を使用します。
- ステップ 2** 実行中のプログラムで vxc を検索します。

```
ps -ef | grep -r vxc
```

次の行が表示されます。

```
admin@LWT44d3ca76ba19:~> ps -ef | grep -r vxc

thinuser 6536 1 0 Mar14 ? 00:07:43 /bin/bash /usr/bin/pidrun.sh -c run_vxc.sh -a -m -o
/var/log/cisco/vxcConsole.log -e /var/log/cisco/vxcError.log

thinuser 6538 6536 0 Mar14 ? 00:00:00 /bin/bash /usr/bin/run_vxc.sh -m

thinuser 6547 6538 8 Mar14 ? 13:02:16 vxc -m

admin 31576 31303 0 11:05 pts/0 00:00:00 grep -r vxc

admin@LWT44d3ca76ba19:~>
```

## ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる

ホストされている仮想デスクトップ (HVD) に再接続するように求めるメッセージが表示されます。ユーザが再接続した後、Cisco Jabber コール制御機能が動作しません。

この問題は、シンクライアントでネットワーク接続が失われた場合に発生する可能性があります。

この問題を解決するには、ユーザにCisco Jabberを終了するか、またはHVDから切断するようにします。次に、自分のHVDにもう一度ログオンし、コール制御を復元してCisco Jabberに再度サインインすることができます。

## HVD の切断後にコールが失われる

アクティブコール中にユーザがホストされた仮想デスクトップ (HVD) に再度ログインするように求めるプロンプトが表示され、コールがドロップされます。コールの相手は、コールが終了したことを示すものではありません。回線はサイレント状態です。

この問題は、シンクライアントとHVDの間の接続が切断され、登録とコール制御が一時的に失われる場合に発生する可能性があります。

この問題を回避するには、ユーザは相手を再度呼び出すことができます。相手方が利用できない場合は、ユーザはインスタントメッセージ (IM) を送信できます。





## 第 8 章

# トラブルシューティング: HP シン Pro および Ubuntu

---

- プラットフォームのバージョンを確認する: HP シン Pro (41 ページ)
- プラットフォームバージョンを確認する: Ubuntu (42 ページ)
- Cisco Jabberの接続ステータスの確認 (42 ページ)
- Cisco JVDI クライアントがインストールされていることを確認する (43 ページ)
- Cisco JVDI エージェントがインストールされていることを確認 (43 ページ)
- シンクライアント上で VXC が実行されていることを確認 (44 ページ)
- ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる (44 ページ)
- HVD の切断後にコールが失われる (44 ページ)

## プラットフォームのバージョンを確認する: HP シン Pro

### 手順

---

- ステップ 1** シンクライアント上で、ターミナルコンソールを開きます。
- ステップ 2** 次のコマンドを入力します: `lsb_release -a`。
- ステップ 3** HP のシン Pro バージョンの出力を確認します。

例 :

```
HP Thin Pro 5.2
```

---

# プラットフォームバージョンを確認する: Ubuntu

## 手順

**ステップ1** シンクライアント上で、[システム設定(System Settings)] を開きます。

**ステップ2** [詳細]の選択

Ubuntu ロゴの下にバージョンが表示されます。


例：

Ubuntu 14.04.x 32b LTS

# Cisco Jabberの接続ステータスの確認

Cisco Jabber for Windows にログインした後、Jabber と Cisco Softphone for VDI の接続ステータスを確認できます。JVDI エージェントおよびJVDI クライアントのバージョンを確認することもできます。

## 手順

**ステップ1**  をクリックすると、設定メニューが開きます。

**ステップ2** ヘルプ > 接続状況の表示を選択します。

**ステップ3** [Connection のステータス (Connection Status)] ウィンドウで、[JVDI Details] をクリックします。

次の情報を確認できます。

- **JVDI クライアントバージョン**

ヒント JVDI クライアントバージョンが 12.5 または 12.1 の場合、そのクライアントバージョンは、ソフトフォンが接続されるまで表示されません。

- **JVDI エージェントのバージョン**

- 仮想チャネルステータスは、JVDI クライアントと間の通信が成功したかどうかを示します。Cisco Jabber

- **SIP status**は、Cisco Unified Communications Managerとの SIP コミュニケーションが成功したかどうかを示します。

- **Softphone CTI** ステータスは、CTI 通信が成功しているかどうかを示します。

ヒント SIPステータスが接続されていても、**Softphone CTI** ステータスが接続されていない場合は、CUCM で CTI 設定を確認してください。

ステップ 4 の詳細な診断情報を表示するには Cisco Jabber、**Ctrl + Shift + D** を押します。

## Cisco JVDI クライアントがインストールされていることを確認する

Cisco JVDI Client がインストールされていることを確認し、バージョンを確認するには、次の手順を実行します。

### 手順

ステップ 1 シンクライアント上で、ターミナルコンソールを開きます。

ステップ 2 次のコマンドを入力します: **dpkg -l | grep jvdi**。

ステップ 3 出力結果で、**ii cisco jvdi** クライアントを探します。

例:

```
ii cisco-jvdi-client <xx.x.x.xxx> i386 Cisco JVDI Client
```

## Cisco JVDI エージェントがインストールされていることの確認

Windows のコントロールパネルを使用して、Cisco JVDI Agent がインストールされていることを確認できます。また、バージョンを確認することもできます。

### 手順

ステップ 1 コントロールパネルで、[ **プログラムと機能 (windows 7)** ] または [ **プログラム (windows 8)** ] を開きます。

ステップ 2 Cisco JVDI Agent を検索するには、インストールされているプログラムのリストをスクロールします。

バージョンコラムに、Cisco JVDI Agent バージョンが表示されます。

## シンククライアント上で VXC が実行されていることを確認

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、vxc プロセスが実行されている必要があります。

### 手順

**ステップ 1** シンククライアントに接続するには、セキュアシェル (SSH) を使用します。

**ステップ 2** 実行中のプログラムで vxc を検索します。

**ps -ef | grep -r vxc**

次の行が表示されます。

```
admin@LWT44d3ca76ba19:~> ps -ef |grep -r vxc

thinuser 6536 1 0 Mar14 ? 00:07:43 /bin/bash /usr/bin/pidrun.sh -c run_vxc.sh -a -m -o
/var/log/cisco/vxcConsole.log -e /var/log/cisco/vxcError.log

thinuser 6538 6536 0 Mar14 ? 00:00:00 /bin/bash /usr/bin/run_vxc.sh -m

thinuser 6547 6538 8 Mar14 ? 13:02:16 vxc -m

admin 31576 31303 0 11:05 pts/0 00:00:00 grep -r vxc

admin@LWT44d3ca76ba19:~>
```

## ネットワーク障害が発生した後、コール制御が失われる

ホストされている仮想デスクトップ (HVD) に再接続するように求めるメッセージが表示されます。ユーザが再接続した後、Cisco Jabber コール制御機能が動作しません。

この問題は、シンククライアントでネットワーク接続が失われた場合に発生する可能性があります。

この問題を解決するには、ユーザに Cisco Jabber を終了するか、または HVD から切断するようにします。次に、自分の HVD にもう一度ログオンし、コール制御を復元して Cisco Jabber に再度サインインすることができます。

## HVD の切断後にコールが失われる

アクティブコール中にユーザがホストされた仮想デスクトップ (HVD) に再度ログインするように求めるプロンプトが表示され、コールがドロップされます。コールの相手は、コールが終了したことを示すものではありません。回線はサイレント状態です。

この問題は、シンククライアントと HVD の間の接続が切断され、登録とコール制御が一時的に失われる場合に発生する可能性があります。

この問題を回避するには、ユーザは相手を再度呼び出すことができます。相手方が利用できない場合は、ユーザはインスタントメッセージ (IM) を送信できます。

HVD の切断後にコールが失われる



## 第 9 章

# 一般的なトラブルシューティング

- [コンフィギュレーションファイル](#) (47 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager](#) でのデバイス登録の確認 (47 ページ)

## コンフィギュレーションファイル

システムに追加する Cisco ユニファイドクライアントサービスフレームワーク (CSF) デバイスごとに、Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャーは設定 (CNF.xml) ファイルを作成します。CNF ファイルには、関連付けられたユーザのデバイスの仕様が含まれています。

ユーザが Cisco Jabber にログインすると、VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、関連付けられている CNF ファイルのダウンロードをシンクライアントに開始します。ファイルが正常に転送されるには、すべてのファイアウォールアプリケーションで関連するポートを開いて、シンクライアントがポートにアクセスできるようにします。ポートを開く方法の詳細については、ファイアウォールソフトウェアのドキュメントを参照してください。



**重要** CNF.xml ファイルは、HTTP プロキシのシステム設定に従ってダウンロードされます。プロキシが企業ネットワーク外にあるシンクライアントから HTTP 要求をルーティングしないことを確認します。

## Cisco Unified Communications Manager でのデバイス登録の確認

デバイス登録の後、CSF デバイスが、シンクライアント IP アドレスから Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。詳細については、ご使用の Cisco Unified Communications Manager バージョンのマニュアルを参照してください。

